



No.23
2017・12

ホーモイ通信

高齢社会をよくする下関女性の会
(ホーモイ)

代表 田 中 隆 子
TEL/FAX 083-253-4892

URL: <http://www.yg-life.net/homoj/>

2017 総会記念講演

高齢期の住まい方と暮らし方

シェア・ハウジングという住まい方とその可能性

少子高齢、人口減少が進む下関市は、一人暮らしの高齢者が 17.1%、高齢者夫婦は11.0%、彼らの社会的孤立を無くし、経済的負担を軽減し、助け合い、分かち合う暮らし方について、一緒に考えてみましょう。

講師：高齢社会をよくする北九州女性の会 代表：富 安 兆 子

はじめに

20年来抱えていたテーマですが、10年前に私の町で起きた孤独死から、本当に困った時に支え合う関係が切れていると感じ、何か始めなくてはという思いを強くしたのです。海外で訪れた57ヶ所くらいの国では、他人と関わろうとする人々がもっとたくさん居ました。

1 少子高齢・人口減少社会の到来

21世紀は、20世紀と違って大きく変化する時代で人口減少社会です。わが国は2005年から人口自然減で、合計特殊出生率は低下(1.42%)し、生涯未婚率、離婚率はともに上昇しています。

一方、高齢化率は高まり(全国27%、北九州市29%、下関市33.8%)、平均寿命は女性87歳、男性80歳。3歳上の夫が先立った後、妻は約10年独り身となり、高齢者の一人住まいが増す。こうした変化が表れています。

高度情報技術社会と言われる現代は、あらゆるものがインターネットと繋がり、IT(高度情報)に依存している若者とそうでない高齢者との隔たりは大きく、両者が人間的な関係を持つためにも、建物や住まい方をシェア(共有)していくことは、必要なことだと思います。

21世紀は、何でも自分のものにしたいという時代から、今あるものを皆で上手に使っていこうという時代に移ってきています。これ以上地球環境から廃棄物を出さず(核のゴミも)、もう一度人間らしい生活を取り戻そうと、若い人たちが世界共通にそういう感覚を大事にしています。限りある資源を分かち合っていかなければ、人類そのものが立ち行かなくなるという考え方が、徐々に広まっているのです。今ある自分たちの条件を上手に生かしながら、知恵を使って生きるのが21世紀の特徴です。

2 成熟型社会の住まいの処方箋

先端技術を駆使して、省資源化を徹底した「スマートシティー」や、生活に必要な諸機能を効率的に集めた「コンパクトシティー」は、20年そこらではまだできません。

人口も増えない

中で、どう暮らし、どこで最期を迎えるか。成長がピークに達した成熟型社会に生きる高齢者の住まいの処方箋は、これまで歩いてきたアナログ

の哲学を持ち、腹を据えた生き方をすることです。認知症になっても安心して暮らせる仕組みをかなり早い時期から考えておく必要があります。

そこで登場するのが「シェア・ハウス」です。自分の部屋とは別に、共同利用できる共有スペースを持った賃貸住宅で、交流も楽しめる新しい住まい方です。

この中で、空き家の活用についても、考えていきたいと思います。



3 シェア・ハウスの暮らし方(シェア・ハウジング)

シェア・ハウスの運営方式には、「事業所介在型」と「自主(共同)運営型」がありますが、前者は営利型、後者は非営利型です。後者の一つ、北欧型の“コレクティブハウス”は、家事、育児などの協働化をめざして早くから始まりました。人口が少ない北欧では話し合いがうまくいき、日本でも人口減少はチャンスです。手間暇かけないと、安心できる人間関係は育ちません。血縁によらない選択をした人も、適度な距離の中で調整しながら暮らし、一人一人が大切にされ、人間らしく生きられるシェアハウジングは、まさに21世紀型の暮らし方です。

大昔のように、プライベートも何もない生活はできません。言葉を交わしたり、美味しいものが食べたいときには自由にできるような仕組みが、社会の中で少し成熟していくと、もっと住みよくなるのではないかと思うのです。行政とうまく協働しながら、そういう仕組みをつくっていけば、安心感があるだけで生き易くなります。

(大吞 芳子)

生野きらきら子ども食堂

毎月第1、第3 火曜日 17:30～20:00

「風の家」で開催 予約不要・無料

どなたでもお越しください！！

2017年11月27日 毎日新聞に掲載

「誰でもどうぞ」子ども食堂

毎月2回 下関・生野町の「風の家」



新聞を見て、赤ちゃん連れて応援に駆けつけてくれたり、
かりんとうとかぼちゃが届きました



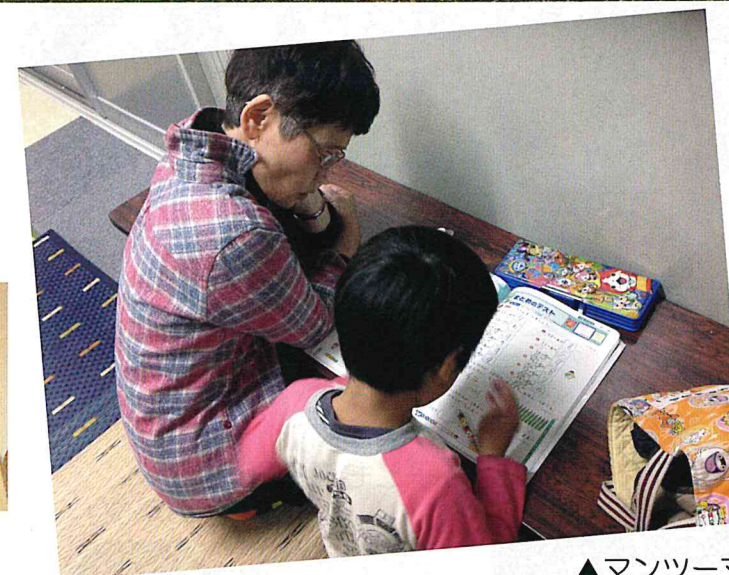
風の家の敷地内に
学習支援の場が誕生！！

ご支援ありがとうございます。

樋口紀子・吉岡正行・サンワ電工・安田成興
梅光学院大学宗教委員会・松村通世・生田都
コールセシリア・江良系子・乙部圭子・山本郁子
他多くのみなさん



宿題ができた～



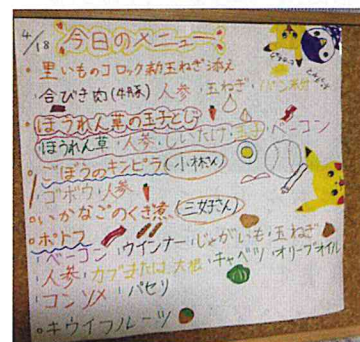
▲マンツーマンの指導



手作りのかりんとう



赤ちゃんは人気物です



毎回、子どもたちが工夫して
書いてくれるメニュー表



一品持寄り
おばあちゃんの味

- ・大根の酢の物
 - ・ポテトサラダ
 - ・煮豆
 - ・こんちゃくの煮物
 - ・巾着袋の煮もの
- と多彩です



幼児から大学生、高齢者と賑やかな食事



▼食後はリラックススペースに変身 みんな好きなことをしています



介護予防のためのサロ

毎月第1土曜日 10:00～14:00
下関市立大学体育館で開催しています
お気軽にお越しください



▲筋力トレーニング



▲伸ばして、伸ばして



▲姫？トレ

▼健康講話
子どもの死因第1は
「不慮の事故」



▼市立大学吹奏楽部 クリスマスコンサート



▲フラワーアレンジメント